

### 第3回研究モニタリング委員会 議事録

日時：2006.12.15

場所：アソシア名古屋ターミナルホテル 19階会議室

出席：岡山 明、黒沢洋一（研究モニタリング委員）

（J-MICC Study）渡邊能行、小笹晃太郎、三谷智子、尾崎悦子（京都府立医科大学）、  
浜島信之（主任研究者、名古屋大学）、若井建志、内藤真理子、石田喜子、西尾和子、  
岡田理恵子、増井香織、水谷恵子（中央事務局）

欠席：中山健夫（委任状提出）、山縣然太郎、武藤香織（研究モニタリング委員）

#### 議事内容

##### ■ 各コーホート研究実施グループの研究計画書等に関する検討

京都府立医科大学の研究担当者から、今年度中に研究協力者募集開始予定の「日本多施設共同コーホート（J-MICC Study）：京都フィールド1」の研究計画について説明を受け、検討、討議した。

■ J-MICC 連合、および同連合への九州大学（研究責任者：古野純典）の参加について、主任研究者より説明があった。J-MICC 連合は J-MICC 研究に直接は含まれないので、モニタリング委員から参考意見を聞いた。モニタリング委員からは、1. 九州大学が J-MICC 研究に一方的に協力する形でいいのか。また、データの所有権、目的、古野先生の関わりなどは整理されているのか、2. J-MICC 研究内部の研究者も、九州大学の J-MICC 連合としての新規参加を了承しているか、との質問があり、主任研究者からは、1. については、九州大学が J-MICC 研究に協力するという形を考えており、研究費配分もまだない。九州大学では他の研究への調査資料、生体試料の提供として研究協力者の同意を得ている、2. については運営委員会です承を得ている、との回答があった。

##### ■ 主任研究者より、以下の報告があった。

- ・ 研修／モニタリング／委員会の実施開催状況
- ・ 平成 18 年 10 月 30 日の中央事務局モニタリングの結果と、指摘事項への中央事務局の回答
- ・ 倫理審査委員会の承認状況
- ・ 研究計画書（J-MICC 研究全体）の変更について：主に外部評価委員会の指摘に対応
- ・ 今後のモニタリング委員会の開催時期について

研究計画については全てのコーホート研究実施グループについて検討が終了したので、来年度からは 4 ヶ月に 1 回もしくは 3 ヶ月に 1 回開催することとした。次回は 5 月に開催予定。